

7月の県内景況は、「売上高」などの6項目が改善し、「業界の景況」も改善した。ただ、猛暑の影響で業種により二極化傾向となった。

情報連絡員による平成27年7月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は27.6%（前月比+3.9）となっており、「横這い」は31.0%（同+0.5）、「低調」とするところが41.4%（同-4.4）、業界全体の「景況感DI」は-13.8（同+8.2）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「雇用人員」の項目において前月と比較して改善しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、食料品製造業、繊維製品製造業、小売業及び建設業は「快晴」または「晴れ」、鉄工機械製造業、その他製造業、卸売業、サービス業は「曇り」または「薄曇」、その他の業種はすべて「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が17.2%（前月比-1.4）と減少しております（好転の回答1件、やや好転の回答9件）（製造業3、非製造業7）。また、変わらないが、58.6%（前月比-2.4）と減少しております。やや悪化、悪化の見込みは、24.2%（前月比+3.8）と増加しております。

平成27年7月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率96.7%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	14.29	14.29	0.00	14.29	14.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	14.29	14.29
繊維製品製造	0.00	66.67	0.00	33.33	33.33	66.67	33.33	66.67	-33.33	-33.33	0.00	33.33
木材木製品製造	0.00	-100.00	-50.00	-50.00	-50.00	-100.00	-25.00	-50.00	0.00	-25.00	-25.00	-100.00
鉄工機械製造	0.00	-20.00	0.00	20.00	-20.00	0.00	-20.00	-20.00	-20.00	-40.00	0.00	-20.00
その他の製造	-16.67	0.00	0.00	33.33	-16.67	-16.67	-16.67	0.00	-16.67	-16.67	-16.67	-16.67
卸売業	0.00	0.00	25.00	0.00	-50.00	-50.00	-25.00	-25.00	0.00	-25.00	-25.00	-25.00
小売業	37.50	37.50	12.50	25.00	25.00	12.50	0.00	-37.50	-12.50	0.00	0.00	12.50
商店街	0.00	-33.33	-16.67	0.00	-16.67	-50.00	-16.67	-33.33	0.00	0.00	-16.67	-50.00
サービス業	14.29	0.00	14.29	28.57	14.29	-28.57	-14.29	-28.57	0.00	14.29	14.29	0.00
建設業	0.00	20.00	0.00	40.00	0.00	20.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00	20.00
運輸業	0.00	-33.33	0.00	33.33	0.00	33.33	0.00	-33.33	-33.33	-66.67	0.00	-66.67

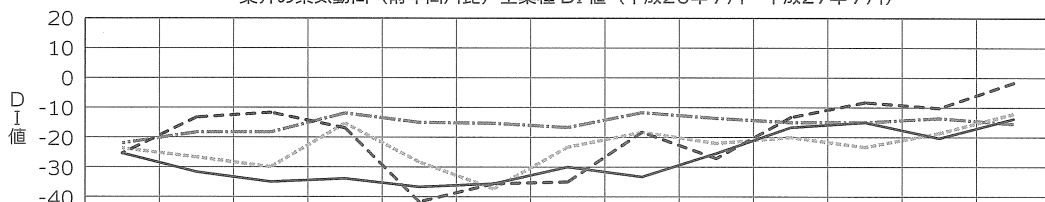
天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成26年7月~平成27年7月）



	平成26年7月	平成26年8月	平成26年9月	平成26年10月	平成26年11月	平成26年12月	平成27年1月	平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月
業界の景況	-25.4	-31.7	-35.0	-33.9	-36.7	-35.6	-30.0	-33.3	-25.4	-16.7	-15.0	-20.3	-13.8
売上高	-25.4	-13.3	-11.7	-16.9	-41.7	-35.6	-35.0	-18.3	-27.1	-13.3	-8.3	-10.2	-1.7
収益状況	-23.7	-26.7	-30.0	-15.3	-28.3	-37.3	-23.3	-18.3	-22.0	-20.0	-23.3	-18.6	-12.1
資金繰り	-22.0	-18.3	-18.3	-11.9	-15.0	-15.3	-16.7	-11.7	-13.6	-15.0	-15.0	-13.6	-15.5

食料品製造業

<漬物>

生野菜が高騰し、収益が厳しいうえに、円安により輸入原材料が高騰し、厳しい。値上げができない。

<パン>

大変暑い日が続く、売上に影響がでている。

<味噌醤油>

贈答用の時期であるが、その動きは未だ厳しい状況が続いている。味噌醤油の主原料をはじめ副材料、調味料の価格の高騰は製造コストに直接影響し、販売価格に転嫁できないジレンマに苦慮している。

<菓子>

菓子業界は一般的に暑さにより売上が大きく減少する傾向にある。今年の猛暑は大きな悪影響を与えている。好天により小豆、もち米などが豊作になりいい品質の物が安定して買える事に期待をしている。

<乾麺>

冷夏も予想されたが、台風の影響で増産となった。6月のマイナスをカバーできるか。原料価格は上昇しているが、販売価格へ反映できない。原料高と風評被害に苦しんでいる。

<酒造>

吟醸酒を中心に順調に伸びている。前年に比べ良くなっている理由の一つにDESTINATIONキャンペーンの成果が上げられると思う。ただ今の暑さを考えると、今後の伸びはあまり期待できないと思う。

<食品団地>

梅雨明けから気温が上昇し、猛暑日が続いたため一部の季節商品以外の売上は減少した。原油価格は少し落ち着いているが、原料等の価格高騰は続いているため各組合員企業の収益は厳しい状況が続いている。

縫製品・同製品製造業

<ニット>

秋冬物の受注生産が最盛期で、忙しい状況である。

木材・木製品製造業

<製材業>

丸太価格は依然低迷していることから、出材の減少傾向が続いており、需給状況は引き締まりつつある。しかし肝心の製材品（住宅関連）需要が盛り上がりず、製材工場の在庫もまだ多いために、当用買いに徹する状況が続いている。

<外材輸入>

6月の新設住宅着工は対前年で増加し、製品の荷動きは徐々に回復しつつある。組合員企業の一部に引き合いの増加がみられるが、価格の押し上げにはつながない。秋口に期待したい。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール>

各地域からの現状報告、市況などの情報交換によると、陥没価格の修正、特値の修正、ロット価格修正など、価格の値上げの動きがあるものの、一部原材料の値上げアナウンスも出てきている。実施されると業界は材料値上げ、賃上げがわれわれにとっては重い負担となり、経営環境は厳しくなることが必至。

印刷業

<印刷>

各社各様で受注、稼働状況ともばらつきが見られる

が、全体としての景況は低調である。

窯業・土石製品製造業

<碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約18%の増
2. 当月売上高の昨年同月比 約29%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約26%の増
4. 原因・状況 放射線除染工事（住宅・市道）等への出荷で増となっている。

<生コン>

平成27年7月の組合員生コン出荷数量は、180,162m³と対前年同月比4.2%の増。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比10.9%の減、官公需が28.6%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 10.9%の減

①対前年同月比増加地区

<いわき地区> 43.3%の増

物流センター建設、工場増設工事、マンション新築工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 18.1%の減

高齢者福祉施設新築工事等

<県中地区> 16.4%の減

マンション新築工事、工場増築工事等

<白河地区> 2.8%の減

家電量販店新築工事、倉庫・事務所建設工事等

<相双地区> 34.9%の減

原発保安対策工事等

<会津地区> 19.4%の減

工場増設、倉庫建設工事等

■官公需の動向

対前年同月比 28.6%の増

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 2.6%の増

霊山、馬館山、庄司淵トンネル、医療科学センター新築工事等

<県中地区> 40.1%の増

環境創造センター、西部第一工業団地造成工事、復興公営住宅建設工事等

<相双地区> 77.9%の増

モックアップ施設、減容化施設工事、LNG基地工事、海岸復旧工事等

<会津地区> 11.0%の増

浄水場工事、磐梯町地域交流センター、鶴城小学校建設工事等

②対前年同月比減少地区

<白河地区> 9.2%の減

石川町役場、矢祭小学校建設工事等

<いわき地区> 9.7%の減

港湾災害復旧、小名浜東港関連工事等

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、集中定修工事の終息工事を主体に売上が前月比106%と微増に転じた。前年同月比においても114%とやや盛り返し感が見られるが、前年累計比では未だ80%弱と不安が続く状況である。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

7月は暑い日が続いた影響で、エアコン等の売れ行きが好調であった。食品に関しては、ソフトドリンクの売れ行きはよかったが、アルコールの売上については、前年度割れしたところもみられた。ギフトの売上は鈍かった。アルコールやギフトについては、消費者の価値観や生活スタイルの変化によって、今後もあまり期待できない。一方、建築関連は依然好調ではあるが、引き続き人手不足が悩み。

<再生資源>

例年、梅雨の影響で資源物の発生率の減少が懸念されるが、今年は雨も少なく、発生率への天候の影響は少なかったはずだが、逆に、後半からの猛暑で発生減に拍車をかける状況になった。古紙については、秋の需要期に期待するところであるが、国内相場を引っ張っていたアジア向け輸出市況が軟調で、これからの国内向け市況に影響がでるか注視したい。

小売業

<共同店舗>

(県中地区の〇ショッピングセンター)

売上・客数は前年比、前月比ともプラスになった。プレミアム商品券が出回ったことが大きく影響していると思う。好景気と勘違いするのは危険な気がする。プレミアム商品券効果がいつまで続くかが懸念される。

<石油>

7月は元売仕切価格が若干下落した。一方、小売価格はほぼ前月同様で推移している。これにより、徐々に収益状況は改善傾向にあるが、全体の需要減は否めない状況が続いている。

<青果>

県内の梅雨入りが遅れ、雨量も少なく野菜の生育にも影響がでて西日本の豪雨もあり、野菜の単価の高騰が6月から7月前半まで続いた。中旬から下旬にかけては、家庭菜園での収穫も始まり、単価の極端な下落があった。桃の取扱も少しずつ始まり、8月お盆前の贈答用に取扱が増加することに期待したい。

<電機>

エルニーニョ発生などで天候の心配があったが、一転猛暑。エアコンと冷蔵庫の販売が好調。ただ、エアコン不足で販売につながらない面がでている。

商店街

<福島市>

デスティネーションキャンペーンが終了し、客足が減少するかと思われたが、かえって増えたように感じた。県外からの来客は減少しているのは確かではあるが、地元民に動きが見られた。後半は、暑さが酷すぎて、昼夜を通して人が少なかった。31日にはわらじ祭りが開催されたが、賑わいはあるものの、地元への経済効果という面から見ると、イベントには効果がないことを改めて実感させられた。また、現在の福島において「祭りのあと」の治安の悪さも問題になりつつある。

<郡山市>

今月は客数・駐車場売上は微増だったが、定期券売上などの落ち込みで全体では減少になった。近隣に駐車場が増えてきており、長時間駐車料金サービスを打ち出しているが、時間貸しより定期券のほうが影響を受けているような感じ。来街者数は先月に比べれば

保っているため、このまま客数が維持できればと願う。

<南相馬市>

当商店街が運営するコミュニティショップが開店し、3日間で約1,000人の来店があり、商店街のにぎわいが戻ってきた。7月に発行されたプレミアム商品券はギフト商品に多く利用されているようだ。商品券の利用促進イベントを8月に実施する予定。

<会津若松市>

気温が高い日が多く、日中の来客数が少なかった。セールに入り、少し動きがあった。7月12日に行われたイベントでは多くの家族連れが商店街を訪れた。商店街を知ってもらおう良い機会になっていると思う。

<いわき市>

前半のボーナス支給時期あたりまでは、商店街にもお客様のご来街が多かったが、後半は足が止まった感じがする。台風などの影響も少なく、条件は悪くないが梅雨明けから気温が高く暑い日が続いたからだろうか。それともプレミアム商品券の発売を待ち、8月にお買い物をしようとする動きなのか。飲食店以外はあまりいい話を聞かなかった7月である。

サービス業

<旅館業>

(土湯温泉)

ふくしまデスティネーションキャンペーンも終了し、観光業界はいったん落ち着いた感がある。7月中旬から真夏日が続いたことから、日帰り観光客の出足が悪い。お盆の宿泊予約状況も8月14日は満室であるものの、15日、16日はぎりぎりまで空室がある状態である。あづま総合運動公園でのスポーツ大会が6月から7月にかけて開かれたことから、スポーツ団体宿泊が増えた。

<理容業>

暑い日が続き、夏向きヘアが好調。クールビズ、冷シャンプーも順調。暑いとだれでも髪を短めにし、さっぱりしたい気分になるだろうし、理容にとっては暑さは大歓迎。組合上げて夏メニューを提案してきた効果もでているようだ。また、夏休みに入り子供客も増えてどの地域もまずまずのようだ。お盆頃まではこのような状況が続くと思うので、お客様に少しでも暑さ対策になるようなメニューを提案し、サービスに努めたい。

<廃棄物収集運搬業>

雇用状況については依然として厳しい状況ではあるが、7月に数名の応募があり若干の増となっている。

震災関連事業もほぼ終了。組合として取り組むジャンルもあることはあるが、ゼネコンが乗り出してくるために勝負にならない。下で入ればと考えはするが、やり方がひどいためこちらとしてはメリットがない。

建設業

<建設業>

(県南地区)

除染業務は継続しているが、除染以外の通常工事が減少している。建築工事は住宅が減少しているが、規模の大きい新設工場の着工が見られる。メガソーラー発電所の設置工事が多い。

<管工事>

前月比で給水・排水設備申請とも減少。前年同月累計対比で給水設備申請が増加し、排水設備申請は減少している。

<専門工事>

梅雨入りが遅かった割には台風一過、例年並みに梅雨明けとなった。その一方で、冷夏と予想されたのは裏腹に非常に福島らしい夏の到来となり、連日高温多湿な状況と、突発的な雷雨にさらされている。また、8月からは新卒者の募集が解禁となる一方で、水面下での困り込みが進行している気配がある。それぞれの企業の自助努力という言い方もあるのかもしれないが、東京オリンピックも含めて地方への魅力度は低下しつつあり、企業努力のみならず、行政の監視・指導と言った面も充足してほしいと感じている。なお、原発の廃炉作業についての動きがあるようなので、地域的にも注視していきたいと思う。

運輸業

<トラック運送>

(県北地区)

売上については概ね横ばいで推移しているが、燃料費が低下傾向にあり収益状況は改善している。

8月は例年稼働日数も少なく売上、収益共に減少するが、燃料費は引続き低水準で推移すると思われる、例年並みの収益は確保できる見通しである。

<ハイヤータクシー>

暑さのせいで人出が悪かったか。低調な動きが続いている。

県政トピックス

2015.9

— テクノセミナー（在職者訓練）のご案内 —

県では、主に企業で働いている方を対象に、業務に必要とされる知識・技能の習得や資格取得の事前準備講習会など、技能向上を目的とした2日～10日程度の短期の職業訓練を開催しています。

◆主な内容◆

レディーメイド型コース

品質管理、Jw-cad基礎・応用、Auto-cad基礎、機械製図の基礎、第一種電気工事士（学科・実技）、第二種電気工事士（学科・実技）、測定器の使い方、OA事務、プログラミング、3DCADと3Dプリンター 等

◆各コースの詳細は、各テクノアカデミー（郡山・会津・浜）のホームページでご覧いただけます。

テクノアカデミー

検索

オーダーメイド型コース

企業・事業主団体から独自の講座を開講したいというご要望があった場合は、相談に応じてカリキュラム内容・日程などを計画し、ご要望に応えたセミナーを開催します。

※開催例…品質管理入門、5Sと仕事の改善、はんだ付け作業概論、旋盤加工講座、新入社員研修、シーケンス制御（有接点・無接点）、測定器具取扱いの基礎 等

◆受講料◆ 標準12時間で3,100円または4,300円（訓練時間により、標準額から増減します。）

受講料の他、テキスト代・教材費等は自己負担となります。

お問い合わせ

福島県商工労働部

産業人材育成課

電話 024-521-7829

テクノアカデミー郡山

電話 024-944-1663

テクノアカデミー会津

電話 0241-27-3221

テクノアカデミー浜

電話 0244-26-1555